

泊発電所 耐震安全性評価における「原子力安全・保安院として考える課題」を踏まえた地震動による施設への影響について（概要）

追加検討として、地震動を追加して以下の評価を実施した結果、複数の地震動を考慮しても施設の耐震安全性に影響を与えるものではないことを確認した。

前回選定した地震動に加えて、2つの地震動を選定した。【図 - 1 参照】

今回選定した2つの地震動を含む3つの地震動による応答を包絡した床応答曲線を作成し、前回評価した床応答曲線に与える影響は軽微であることを確認した。【図 - 2 参照】

固有周期の異なる4設備を抽出して、断層の連動を考慮した地震動と基準地震動 S_s の応答加速度の比が1以下であることを確認した。【表 - 1 参照】

以上

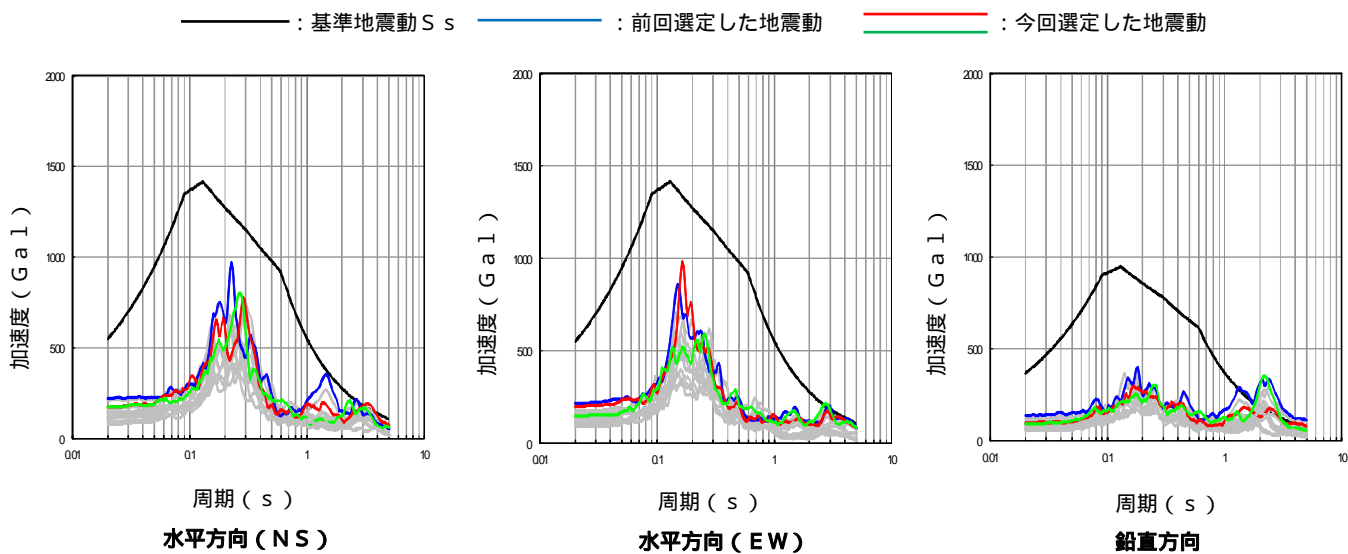


図 - 1 評価に用いた地震動の応答スペクトル図

— : 基準地震動 S_s — : 前回選定した地震動
 — : 前回と今回選定した地震動の応答を包絡 — : 原子炉容器の固有周期

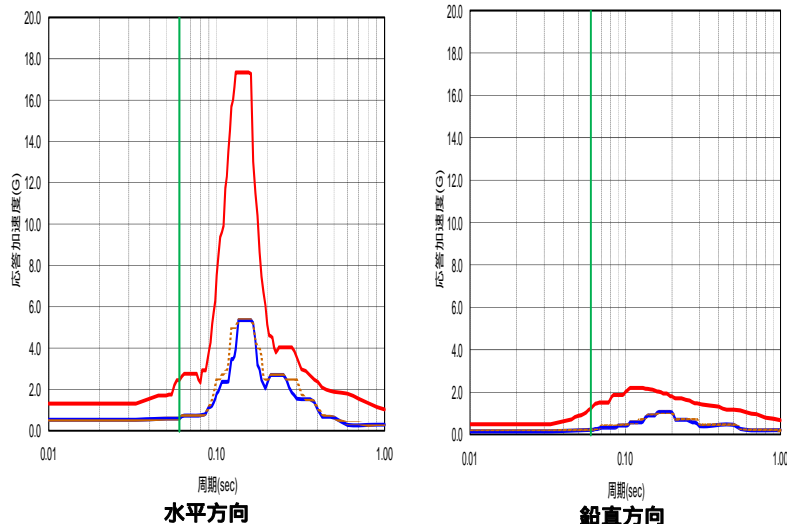


図 - 2 原子炉容器の評価に用いた床応答曲線

表 - 1 耐震安全性確認表（1号機の値）

No.	設備名称	応答加速度の比 (断層連動の地震動/ S_s)			
		水平方向		鉛直方向	
		前回	今回	前回	今回
1	原子炉容器	0.41	0.41	0.32	0.32
2	炉内計装引出管	0.36	0.36	0.54	0.54
3	制御棒挿入性	0.51	0.76	0.34	0.34
4	使用済燃料ピットクレーン	0.38	0.42	0.47	0.47

No.1 No.4 の順で固有周期が長い